

課題名：早期アルツハイマー病に対し抗アミロイド抗体薬と併用できる
神経保護人工アゴニストの開発

代表機関/代表者：国立長寿医療研究センター/飯島 浩一
研究期間：令和8年度～令和10年度

研究開発目的

早期アルツハイマー病に対して、抗アミロイド抗体薬によるアミロイド病理の除去とともに、神経細胞の保護や変性からの回復を促すことで、認知機能の低下を抑止する神経保護人工アゴニストを開発します。

取り組み

アルツハイマー病の初期に変性し、行動・心理症状や認知機能の低下に関わる神経細胞を保護するために、脳内の神経栄養シグナルを活性化する人工アゴニストを開発し、単独、また抗アミロイド抗体薬との併用による神経保護効果を、ヒトiPS細胞やマウスモデルを用いて評価します。

成果目標

新規モダリティとして、末梢からの投与で脳に移行する神経保護人工アゴニストや抗アミロイド抗体薬を開発し、マウスモデルへ単独、併用投与し、より高い治療効果の達成を目指します。

